

### 注意!!チャドクガの大発生



活動中にチャドクガ幼虫の群れている枝を切り取りました。このとき幼虫が糸をはいて葉から落ちて逃げるので、切る枝と幼虫の下にポリ袋を開いて待ち構えます。静かに枝を切るのがコツ。でも注意!!



特別保護区のチャノキやツバキなどに、今年もドクガ科のチャドクガが大発生しましたが、五月の活動時に枝ごと切り取ってポリ袋に入れ処分しました。チャドクガの処分は毒毛に触れないよう注意しましょう。



### 園内の調査活動

毎月の活動日には植物や動物の個体調査などを継続的に行なっています。5月には池の周りにキショウブ(中央写真左下)が黄色い花を、ヤマボウシ(中央写真上)は白い花を咲かせていました。ムサシアブミは花を終え、トウモロコシのような実をつけていました。中央右の写真は、ムサシアブミの実と花、花の断面写真です。



### いろいろな虫たち

園内にはいろいろな虫たちが暮らしています。初夏は虫たちの季節。モクレンにハバチの幼虫の群れ。ツマグロオオヨコバイは成虫に育ち、群れて茎の汁を吸っています。地面にはコニワハンミョウの巣穴が。



↑コニワハンミョウの幼虫。土の巣穴から掘り出しました。昔はニラムシと言って子供たちの遊び相手でした。巣穴から顔を出して虫をとらえます。



↑ハバチの幼虫。右は茎の汁を吸うツマグロオオヨコバイ



アカボシゴマダラ  
四月の活動日には大きな終齢幼虫が3匹いたのですが、五月の活動日には1匹も見当たらず。鳥に食べられたと思われます。

